

<p>環境連携交流事業の3日間を通して、岩泉</p>
<p>町の柔らかく、そして強さを体験できた。</p>
<p>水に恵まれ、水に悩まされた地でもある岩</p>
<p>泉町は、東日本大震災だけでなく、昨年</p>
<p>の台風でも大きな被害を受けた。それ以前に2回</p>
<p>訪れたことがあるが、今回も変わらぬ穏やか</p>
<p>な時間が流れていた。しかし、よく見ると復</p>
<p>興が進んでいないのがわかる。約1年も時間</p>
<p>が経過したはずなのに、手つかずのままの場</p>
<p>所が多く残っていた。メディアでは被災した</p>
<p>日にのみ報道されることが多いが、現地に行</p>
<p>くことによってわかることも多くある。町外</p>
<p>の人間として出来ることは、被害があった事</p>
<p>を忘れないこと、岩泉町の製品を購入するこ</p>
<p>とだと思ふ。それもあってか、龍泉洞まつり</p>
<p>には多くの来場者がいらしていた。これも立</p>
<p>派な支援だと思ふ。比較的復興の進んだ中心</p>
<p>街だけでなく、安家地区の復興なども進めて</p>
<p>いってほしいと思ふ。そのために、経済的・</p>
<p>物的支援など、出来ることを今後もしていき</p>

